

## Y02a インターネット天文学辞典の運用・利用状況の報告

縣秀彦（国立天文台），岡村定矩（東京大学），半田利弘（鹿児島大学）他日本天文学会インターネット天文学辞典編集委員会

日本天文学会は、創立100周年記念事業として編纂し2012年に刊行した「シリーズ現代の天文学 別巻天文学辞典（日本評論社）」の内容を更新し、無料で誰でもが利用可能な「インターネット天文学辞典」<http://astro-dic.jp>を2018年4月に公開した（公開前後の経緯については文献を参照のこと）。本講演はその後の運用状況及び利用状況を報告し、今後の更なる改善について議論するものである。

2019年1月に当委員会が日本天文学会の一委員会として設置され、現在15名の委員が本辞典の更新・改良・維持運用を担当している。さらに、一般社団法人日本天文教育普及研究会「天文用語検討・活用WG」（現在13名）が、内容のチェックと教育普及現場での利用実践からのフィードバックを行っている。なお、改良・維持を目的に毎月1回の制作委員会を関係者で実施しており、アクセス解析等を行っている。

アクセス数はこの間順調に伸びている。例えば4月のEHT成果やはやぶさ2に関連する用語など、特にメディアで取り上げられた用語への閲覧が増える傾向がある。また、毎月閲覧数の上位にプランク定数、リュードベリ定数、バルマー系列、赤方偏移などの用語がランクインしており、高等学校や大学等において活用されていることが推察される。2019年秋には英単語から検索可能なよう機能を補強するなど、さらに使い易い辞典を目指している。

文献：岡村定矩, 縣秀彦, 半田利弘（2018）, 天文月報, 第111巻第9号, 601-608.